

# 令和2年度うななかみ幼稚園自己評価・関係者評価報告書

令和 3年 3月 19日

## 1 本園の教育理念

時代を担う幼児に、質の高い教育環境を与え、幼児の可能性を引き出す。自分で考え、自分で判断して、行動できる人作りを目指しています。

## 2 重点目標 一人一人に合わせた保育

## 3 評価項目の達成と取り組み状況

NO	評価項目	内容	達成度と取り組み状況
1	学校経営	長時間保育の子が増え、園児一人一人の行動や心情の特徴を全職員で共有し、事故の防止に努める。	・問題点をミーティングの時に、共有できた。(肯定)
2	保育力	園児個々の能力を発揮できる様、黒板を活用し、掲示によって、見通しの持てる指導法を行う。	・黒板を使い見通しを持てる保育は、個々園児のに対応出来た。(肯定)
3	連携	長を願うと共に、より良く育つ様、個人面談等を通して、保育者と一緒に模索できる信頼関係を築く。	・連絡帳や個人の記録の活用でコミュニケーションを取れた。(肯定)

## 4 総合的な評価結果

評価	重点目標に取り組んだ結果(成果、課題点)
肯定	『一人一人に合わせた保育』に向け課題を持って取り組んだ結果、「とても」「そこそこ」達成出来ていると、言う肯定的評価に至った。今後、一層努力すると共に、終わりのない課題でもあるので、継続して行くこととする。

## 5 今後に取り組む課題

項目	取り組む課題
1 保育力	・ハサミ・のり等の工作において”自由”に取り組める、時間やスペースをあまり作れなかった。来年度は、タイムスケジュール等をしっかりと作り、落ち着いて作業に取り組める様に配慮する。
2 保育力	・不得手とする子の課題をより簡単な物にするか、補助の先生に入ってもらおう。
3 連携	・様々な保護者との信頼関係を築いていくのは、今後の大きな課題になる得る為、職員間で話し合いが必須である。
4 保育力	・さらに向上心を持ち、自信を持って楽しく過ごせるような関わりを考えたいと思う。
5 学校経営	・日々の生活の中では、0才児と1才児の担当を決めて、信頼関係を作った方が良い。
6 学校経営	・延長保育にフルで入れる先生が少なく、回すのが大変。

## 6 関係者アンケートから考察される評価と課題

<p>今年度より、新園舎での保育と成り、昨年までの施設としての課題が大きく改善されました。</p> <p>評価も全体的に、4「とてもそう思う」と3「ややそう思う」が多く、こども園として、教育、保育共に良い方向にあると感じられます。</p> <p>しかしコロナ禍での、保育は手探りで、何一つ自信を持って行動できるものがありません。</p> <p>人類全体が、不安の中にあるのだと思います。</p> <p>3密を避けることや、接触、消毒をどこまで、何をすれば気持ちがおさまるか、人それぞれであります。</p> <p>そこでここは！園はいつでも子供達の幸福を考え、園が今できる「良い加減」の状態を取っていると、考えて頂き、不信や猜疑心を持ちすぎないようにしましょう。</p> <p>何につけても、心配や、不安にさいなまれると、ダメ！ダメ！尽くしにおちいることが、一番の不幸です。</p>
--

これからの課題として、最優先は、健全な保育をこれまで通りに目指すこと。もしくは、やり方は違えども、以前の保育に近い事が出来る様、保育や、行事を工夫して行う事でしょう。